

6月市議会 一般質問 日本共産党

市民病院に 24時間保育を

学校の耐震補強工事と 猛暑対策

成人健康診査を 無料に

6月議会に提出された主な議案の審査結果と各会派の態度

主な議案	日本共産党	民主社	市民ネット	まちなみ	公明党	自民党	表決
病院事業会計補正予算(周産期母子医療センター医療機器購入)	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険条例の一部を改正する条例(専決処分の承認)	×	×	○	○	○	○	可決
体育施設条例の一部を改正する条例	×	△	○	○	○	○	可決
都市公園条例の一部を改正する条例	×	△	○	○	○	○	可決
町田市立児童遊園条例を廃止する条例	×	△	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療制度の抜本的な見直しを求める意見書	◎	◎	×	×	×	×	否決
後期高齢者医療制度に関する意見書	×	×	×	◎	◎	◎	否決
町田第一小学校外32ヶ所 新JIS規格児童用机・椅子購入	○	○	○	○	○	○	可決
世界一高い学費を軽減し、経済的理由で学業をあきらめる若者をなくすことを求める意見書	◎	○	×	×	×	×	否決
豊洲への築地市場移転計画の中止を求める意見書	◎	○	×	×	×	×	否決
ねんきん特別便に関する意見書(請願採択による)	◎	◎	◎	×	×	×	可決
本町田東小学校耐震・防音工事で学童保育クラブへの配慮を求める請願	○	○	○	○	○	○	採択

6月市議会

市民の声よりあげ質問

佐々木とも子

市民病院に24時間院内保育を

事務局長 「必要性を十分認識し、努力を怠らぬ」



後期高齢者医療制度への怒りの声を、市がどう受け止めているか

担当部長 「必要性を十分認識し、様々な努力をしている」と事務局長が答弁しました。



市民病院託児室のある森野三丁目保育園

細野のり子

成人健康診査を無料にもどすべき

副市長 「健康を強く意識してほしい」



細野龍子市議 は、有料化した成人健康診査を無料にもどすよう質問

たかしま均 子どもの資格証明書は早急に中止すべき

担当部長 「資格証明書は発行する」



町田市が国保事業会計に赤字補填している一般会計での繰入金額は、市民一人あたりの計算で見ると多摩の中では06年度で最下位クラスです。持ち出しが少ない国保税は減税できるはずですが、しかし、前向きな回答は得られません。子どもの資格証明書の交付は早急に交付中止すべき

このまひ健一 学校の耐震補強工事、クレーン設置を優先すべき

担当部長 「耐震工事は10年度までに完成させる」

小中学校の耐震工事やクレーン設置を優先すべきとの質問に、担当部長は、「耐震工事は2010年度までに完成させる。クレーン設置の考えはなく、中学に送風機、冷風機、冷凍庫を配備する」と答弁。市内中小企業と商店街振興の「条例」制定をとの質問に、担当部長は、「産業振興基本条例と計画を年度中に制定する」と。二輪



小中学校の耐震工事やクレーン設置を優先すべきとの質問に、担当部長は、「耐震工事は2010年度までに完成させる。クレーン設置の考えはなく、中学に送風機、冷風機、冷凍庫を配備する」と答弁。市内中小企業と商店街振興の「条例」制定をとの質問に、担当部長は、「産業振興基本条例と計画を年度中に制定する」と。二輪

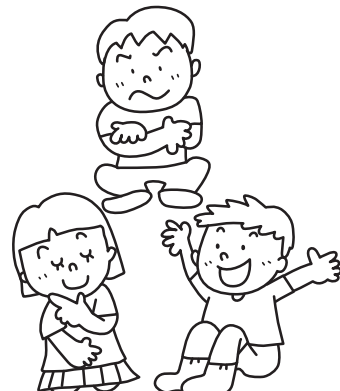
学校名	2008年		2009年		2010年	
	Is値	Is値	Is値	Is値	Is値	Is値
鶴川4小(1)	0.30~0.48	鶴川4小(2)	0.30~0.48	金井小	0.69	
小山田小	0.47	鶴間小	0.51~0.60	小山小	0.38~0.68	
成瀬中央小	0.18~0.67	南2小	0.64~0.69	小山小	0.68	
山崎小(体育館)	0.27	鶴川2小(1)	0.36~0.67	鶴川2小(1)	0.36~0.67	
		南つくし野小体育館(2)	0.48			
		山崎中	0.62	成瀬台中	0.51	
		真光寺中	0.49~0.65			

本町田中は、補強を要する(Is値0.29)が適正配置予定のために補強工事は保留
Is値(耐震指標)0.7未満は補強工事必要あり

学童保育クラブが 100名以上が6ヶ所 超満杯! 児童の豊かな発達のために増設を

マンションの建設や働く女性が増えたことにより、学童保育クラブに入る児童が急激に増えています。父母や関係者の長年の運動を背景に、町田市は、「一小学校区一学童保育クラブ」の設置を進めてきましたが、それでも施設は超満杯状態です。中央学童やなかよし学童をはじめ、定員45名に対して100名を超える施設が6ヶ所、71名を超える施設が14ヶ所もあります。今年3月の議会には、父母や市民のみならず、「学童保育クラブの充実を求める請願」が提出され、現在文教社会常任委員会が継続審査中です。要望は、「定員を大幅に超過している学童保育クラブを分割し、適正規模での保育・運営が行われるようにしてほしい」というものです。厚生労働省は、

「放課後児童クラブガイドライン」で、施設の適正規模は「おおむね40名、最大70名まで」と述べています。少なくとも100名以上のクラブについては同じ小学校区内であっても早急に新しい施設を設置するなど、学童保育に入っている児童がゆとりをもって保育され健全に成長できるように体制がとられるべきです。この請願には、現在、1万4000人を超える署名が寄せられています。日本共産党は、市民の願い実現へ全力ががんばります。



高いごみ袋何とかして



生活指導補助者といっしょに運動会の練習